

11. 市民スポーツ

(1) 生涯スポーツの推進 4 - 5

① 健康・体力づくり活動の推進

高齢化社会の到来や生活習慣病等に対する不安からスポーツに対する関心が高まっている。しかし、スポーツをしたい、やってみたいという潜在的欲求がありながら、きっかけがなく、取り組めない人たちも多い。

そのため、市では健康・体力づくりやスポーツに接する環境づくりに努めているが、今後は、市民のライフステージに応じた健康・体力づくりのための運動プログラムを提供する必要がある。

主な事業	事業目的	事業概要
スポーツ教室の開催	スポーツ教室を通して、その楽しさを体験するとともに日常生活においてスポーツの実践を目指すことを目的とする。	○テニス（春・秋） 毎週火、金10回 60名 ○柔 道 毎週土曜日 25回 25名 ○リズムダンス 毎週火、金10回 26名
バルーン教室の開催	○初 級 バルーンに取り組むきっかけづくり、スカイスports「バルーン」の底辺の拡大、体験者の拡大 ○中 級 パイロットの養成、スカイスports「バルーン」の底辺の拡大、活性化	○初級教室 16名（男性8名、女性8名） 10回 ○中級教室 10名（男性9名、女性1名） 24回（フライト40時間49分）
スポーツ少年団への支援	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の心身の健全な育成に資する。	○平成18年度登録状況（登録団56団、団員1,096名、指導者130名） ○市スポーツ少年団大会 7 種目 44団 843名 ○親子シッパス交流大会 6 団100名 保護者 29名
総合型地域スポーツクラブの普及	市民が身近な地域において、いつでも、どこでも、誰もが定期的にスポーツに接することができるよう、多世代、多志向、多種目のスポーツ活動を行う総合型地域スポーツクラブを普及させる。	○三瀬地区 ・スポーツ教室 よさこい、親子ソフトボール交流会、剣道、ワンバウンドふらぼーるバレー、ジュニアバレー、少年野球 ・交流大会 子供クラブと老人クラブとのゲートボール大会、さわやかスポーツインみつせグラウンドゴルフ大会

② ニュースポーツの推進

年齢や体力に関係なく行えるニュースポーツを普及させるため、ニュースポーツ用具の整備や貸し出し、また、佐賀市体育指導委員と連携を図りながら各校区でニュースポーツの指導・普及に努めている。

主な事業	事業目的	事業概要
さわやかスポーツレクリエーション祭の開催	日頃スポーツに触れる機会のない人たちに、ニュースポーツや、やさしいスポーツを紹介し、また実際にスポーツを体験してもらうことにより、日常生活の中でスポーツに取り組むきっかけづくりとすることを目的とする。	○さわやかスポーツレクリエーション祭 ペタンク 46チーム 152名 健康ウォーク 31名 ニュースポーツ体験 94名 入場者数 277名
ニュースポーツの推進	年齢・体力を問わずに行えるニュースポーツを整備し、貸し出しを行う。また、体育指導委員と連携を取りながら各校区でニュースポーツの指導、普及に努める。	○新たに購入したニュースポーツ用品 ペタンク用バッグ、ビュット、グラウンドゴルフクラブケース、ジュニア用、幼児用バッグ、グラウンドゴルフホールポスト
体育指導委員協議会との連携	地域に根ざしたスポーツ振興を図るため、各校区でのニュースポーツの普及活動や実技指導を行う。 また、市、学校、公民館等が行うスポーツイベントへの協力等を通じて市のスポーツ振興に寄与する。	○委員会活動等 理事会、事業委員会、研修委員会、総務委員会 ○研修会 月例研修会、女性体指研修会 ○自主活動 佐賀市さわやかスポレク祭、佐賀市研究大会、ニュースポーツチャレンジ、バルーンファンタジア、桜マラソン、校区駅伝、全国研究大会、九州地区研究大会、佐賀県研究大会

③ 児童スポーツクラブ活動指導者の資質の向上

児童期のスポーツのあり方、指導のしかた、スポーツ医学等に焦点を当てた「少年スポーツ指導者教本」を作成し、指導者の資質の向上に努めている。

主な事業	事業目的	事業概要
少年スポーツ指導者研修会の開催	児童スポーツクラブ活動指導者に児童の体力や発達段階を無視した過度な練習や勝利至上主義的な活動をやめ、適正なクラブ活動を実践してもらい、児童のスポーツ障害等の発生を防ぐことを目的とする。	○第1回研修会 「少年スポーツの必要性和実施上の留意点」 参加者 25名 ○第2回研修会 「少年スポーツと子どもの気持ち」 参加者 21名 ○第3回研修会 「スポーツ指導論」 「少年期の身体の特徴と個に応じたストレッチングやテーピングについて」 参加者 46名 ○第4回研修会 「知っておきたいスポーツ障害の意味とその予防」 「望ましい少年期のトレーニング法について」 参加者 46名

(2) 競技スポーツの推進 4-5

① 各種目団体への支援強化

財団法人佐賀市体育協会と連携し、佐賀市の競技力の向上が図られるよう各種目団体への支援を行い、競技スポーツの振興に努めている。

主な事業	事業目的	事業概要
体育協会への支援	佐賀市からの補助を主な財源とする佐賀市体育協会に補助金を交付し、校区体協の育成・種目協会の育成・選手の強化・大会の開催などの事業を通し、市民スポーツの振興を図る。	○加盟団体 地区23 種目33 ○各種大会選手派遣費補助実績 ・全国大会、西日本大会、九州大会等 41大会 1,097名分

② 競技スポーツ振興のための施策の支援

競技スポーツの市大会の開催、県民体育大会等への参加支援、市内で開催される九州大会以上の大会に対する補助など、競技スポーツの振興に努めている。

主な事業	事業目的	事業概要
市民体育大会 の開催	市民のスポーツへの意識を高め、競技力向上を図り、またスポーツを生活の中に密着させ、健康で明るい郷土づくりに寄与する。	○市民体育大会 19競技、30種別を実施 参加者 約5,300人 (うち選手 4,262人)
校区対抗駅伝 大会の開催	駅伝競走に親しむことにより、体力の維持と、健康の増進を図る。	○校区対抗駅伝大会 22チーム132名参加 (内オープン参加2チーム)
県民体育大会 への参加	県民体育大会に参加することにより、市民の間にスポーツを普及振興し、スポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな市民生活の進展に寄与する。	○県民体育大会 ※9年連続46回目の優勝 19種目に参加 監督、選手数 520人 役員数 47人
県内一周駅伝 大会への参加	佐賀市代表を支援激励することにより、佐賀市の健闘と、佐賀市での駅伝競技の振興を図る。	○県内一周駅伝大会 ※2年連続37回目の優勝
少年スポーツ 大会の開催	社会体育の一環として、児童がスポーツに親しむことによって正しいアマチュアスポーツの普及と技術の向上及び心身の育成を図る。	○少年野球大会 参加者 636人 ○少年サッカー大会 参加者 398人
各種スポーツ 大会開催の 補助	補助を通して、より充実した大会を開催させることにより、スポーツへの参加を促し、啓発、啓蒙に資する。	○さが桜マラソン大会 参加者 5,262人 ○ひなまつり健康ジョグ&ウォーク 参加者 500人 ○富士健康マラソン大会 参加者 1,000人 ○各種スポーツ大会開催

(3) スポーツ施設の整備と活用 4-5

① スポーツ施設の整備

市民の健康・体力づくりの拠点となるスポーツ施設の整備に努めながら、市民が日常生活の中で、いつでも気軽にスポーツ施設を利用できるよう、その環境整備を進めている。

② スポーツ施設の管理・運営

体育施設の円滑で効果的な管理運営を図るために、「佐賀勤労者体育センター」「佐賀市立体育館」「佐賀市立テニスコート」「佐賀市立弓道場」「佐賀市立野球場」「佐賀市立諸富文化体育館」「佐賀市立諸富公園体育施設」「大和勤労者体育センター」「佐賀市立大和中央公園体育施設」に指定管理者制度を導入し、佐賀市体育協会が指定管理者となっている。

○体育施設一覧

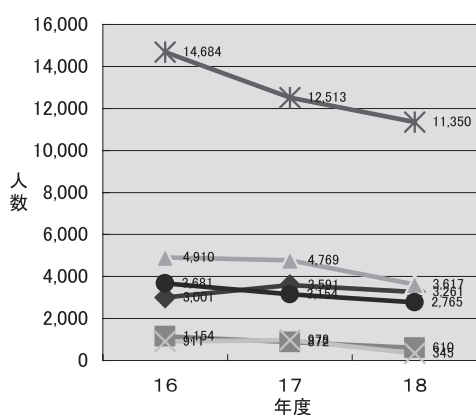
名 称	施 設 の 概 要
佐賀市民運動広場	・野球1面、ソフトボール2面 ・夜間照明
佐賀勤労者体育センター	アリーナ35m×31m ・バレー、バスケット2面、バドミントン8面
佐賀市立野球場	両翼93m、中堅120m ・磁気反転式スコアボード ・屋内ブルペン
佐賀市立弓道場	・近的射場10人立 ・遠的射場 6人立
佐賀市立体育館	アリーナ33m×37m ・バレー、バスケット2面、バドミントン8面 ・トレーニング室
佐賀市立テニスコート	砂入り人口芝コート8面 ・夜間照明
西神野運動広場	・ソフトボール1面、少年野球1面 ・ゲートボール、グラウンドゴルフ
諸富文化体育館	アリーナ42m×34m ・バレー2面、バスケット2面、バドミントン6面 ・ミニテニス6面 ・トレーニング室、ステージ ・座席数1,294席 ・諸富文化体育館多目的施設（柔道を中心とした競技の練習会場）
諸富公園多目的広場	・野球1面、ソフトボール2面 ・夜間照明
諸富公園テニスコート	・クレートニスコート2面
大和勤労者体育センター	アリーナ30m×35m ・バレー、バスケット2面、バドミントン6面
大和中央公園自由広場	・野球2面、ソフトボール4面 ・夜間照明
大和中央公園テニスコート	・全天候型ハードコート2面
大和中央公園多目的コート	・クレートニスコート2面
春日運動広場運動場	・野球1面、少年野球2面、ソフトボール2面
春日運動広場多目的コート	・クレートニスコート4面
富士運動広場	・野球1面、ソフトボール1面 ・夜間照明
富士運動広場相撲場	・屋根付き相撲場
富士運動広場屋内練習場	・剣道1面 ・卓球4台
富士山村広場	・野球2面、ソフトボール2面
三瀬勤労福祉センター	・バレーボール2面、バドミントン3面
三瀬グラウンド	・野球1面、ソフトボール1面 ・夜間照明
三瀬プール	・25m 5コース（内1コース徒渉用）
嘉瀬川河川敷北グラウンド	・野球4面 ・ラグビー、サッカー1面

○スポーツ施設利用状況

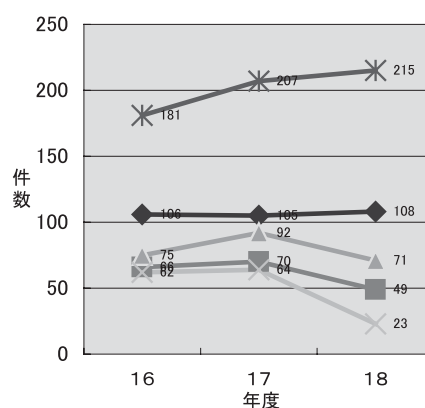
1 佐賀市民運動広場

区分	軟式野球			ソフトボール			その他			合計		総合計
	昼間	ナイター	計	昼間	ナイター	計	昼間	ナイター	計	昼間	ナイター	
件数	108	49	157	71	23	94	215	138	353	394	210	604
人数	3,261	610	3,871	3,617	345	3,962	11,350	2,765	14,115	18,228	3,720	21,948

市民運動広場利用人数の推移



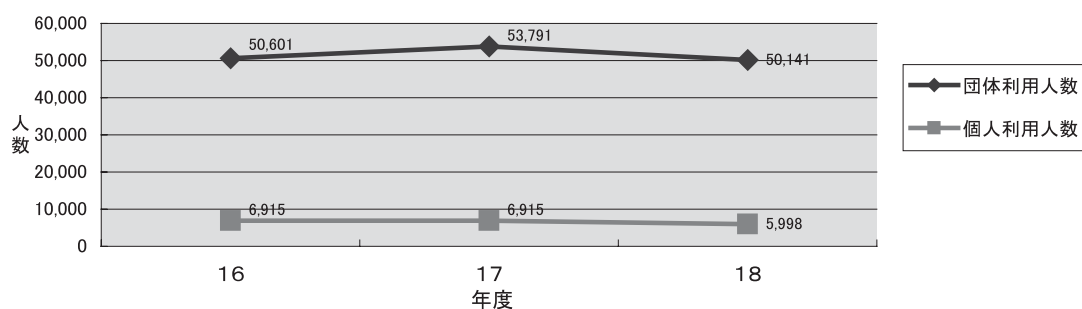
市民運動広場利用件数の推移



2 佐賀勤労者体育センター

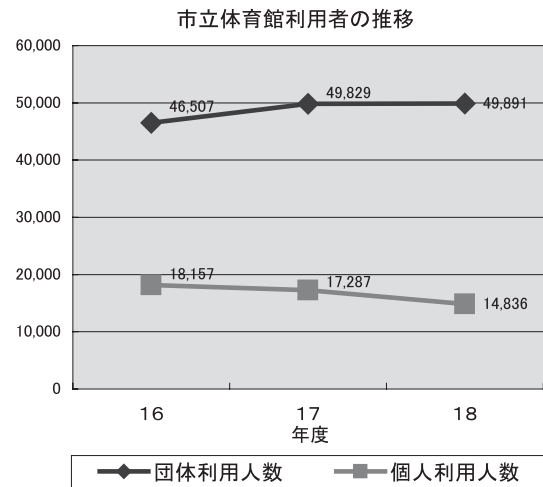
区 分	団体利用者数	個人利用者数	計	区 分	団体利用者数	個人利用者数	計
バトミントン	12,557	1,683	14,240	武道等	979	0	979
卓球(ラージボール含む)	10,675	3,374	14,049	バスケットボール	1,900	381	2,281
ミニバレーボール	15,372	147	15,519	その他	6,428	413	6,841
バレーボール	2,230	0	2,230	合計	50,141	5,998	56,139

佐賀勤労者体育センター利用者の推移



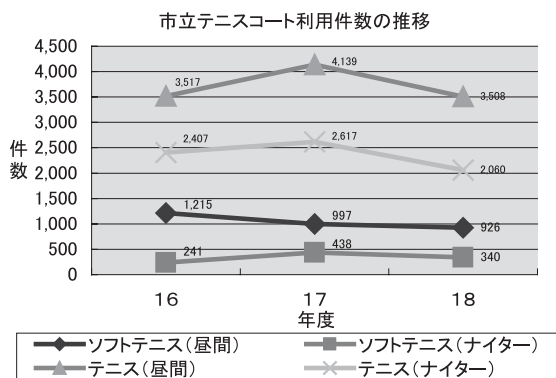
3 佐賀市立体育館

区 分	団体 利用者数	個人 利用者数	合計
バドミントン	6,832	2,933	9,765
バスケットボール	2,387	801	3,188
卓 球	13,562	2,152	15,714
バレーボール	4,048		4,048
ミニバレーボール	14,494		14,494
ミニバスケットボール	3,038		3,038
武 道 等	2,787		2,787
そ の 他	2,743	392	3,135
トレーニング室		8,558	8,558
合 計	49,891	14,836	64,727



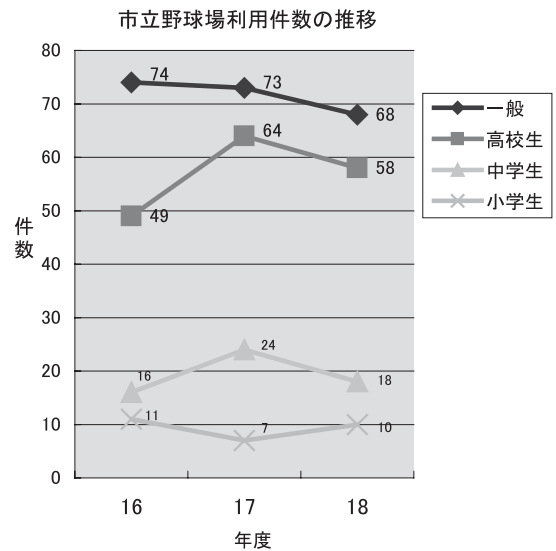
4 佐賀市立テニスコート

区 分	件数	人数
ソフトテニス	昼間	926
	ナイター	340
	計	1,266
テニス	昼間	3,508
	ナイター	2,060
	計	5,568
合 計	6,834	40,088



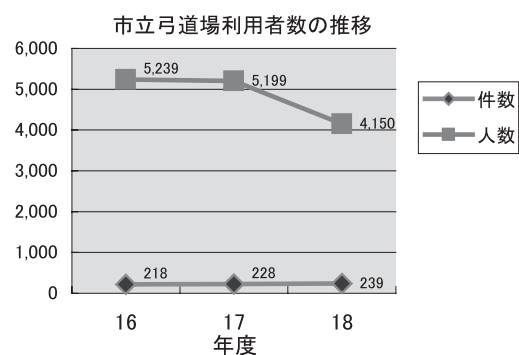
5 佐賀市立野球場(ふれあいスポーツ公園)

区 分	件 数	利用人数
一般	練習	17
	試合	51
計	68	7,861
高校生	練習	18
	試合	40
計	58	6,766
中学生	練習	3
	試合	15
計	18	2,310
小学生	練習	2
	試合	8
計	10	2,030
合計	154	18,967
観客数	16,208	
利用日数	140	



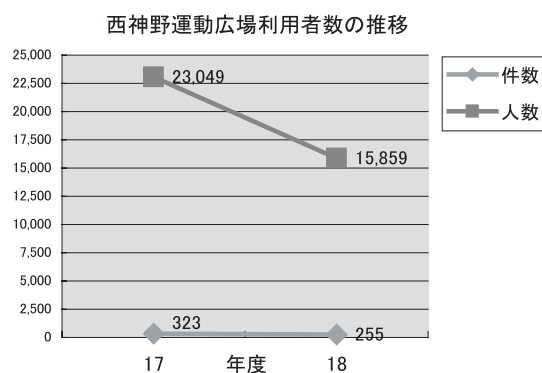
6 佐賀市弓道場(ふれあいスポーツ公園)

区 分		件数	人数
団 体 利 用		239	3,132
個 人 利 用	一 般		1,000
	高校生以下		18
合 計		239	4,150



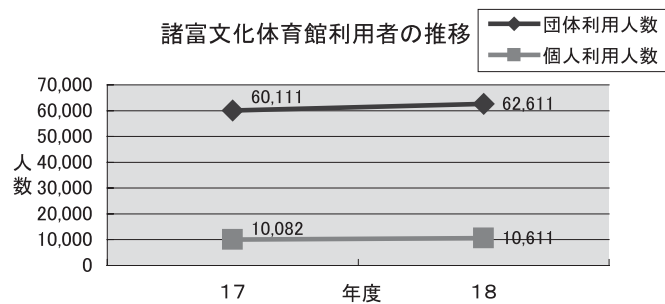
7 西神野運動広場

区 分		件数	人数
少年野球		33	5,540
ソフトボール		107	2,404
そ の 他		115	7,915
合 計		255	15,859



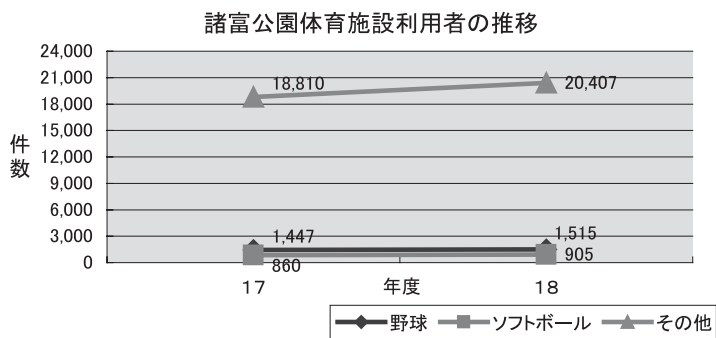
8 佐賀市立諸富文化体育館

区 分	人 数
個 人	10,611
団 体	62,611
合 計	73,222



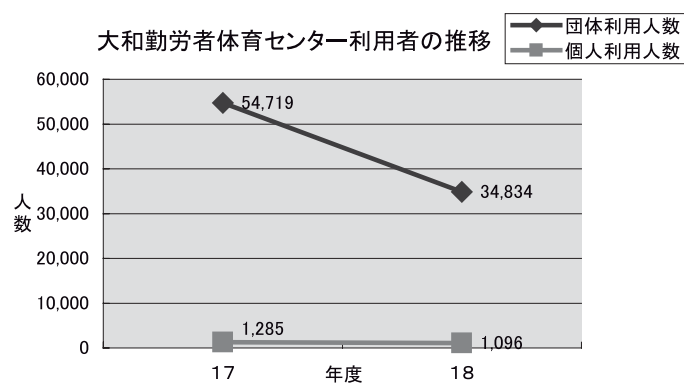
9 佐賀市立諸富公園体育施設

区 分	人 数
野 球	1,515
ソフトボール	905
そ の 他	20,407
合 計	22,827



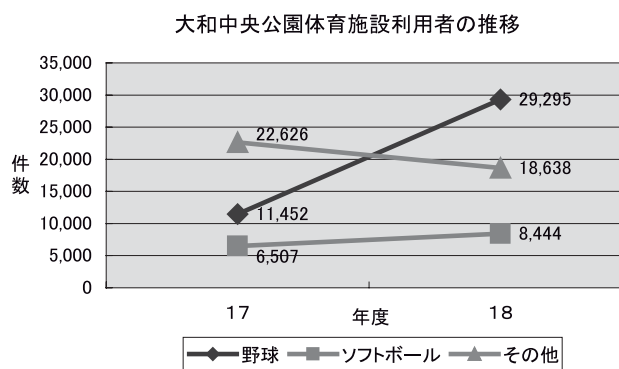
10 佐賀市大和勤労者体育センター

区 分	人 数
個 人	1,096
団 体	34,834
合 計	35,930



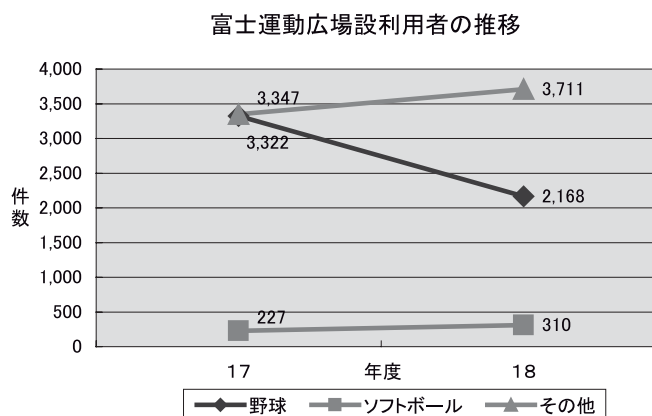
11 佐賀市立大和中央公園体育施設

区 分	人 数
野 球	29,295
ソフトボール	8,444
そ の 他	18,638
合 計	56,377



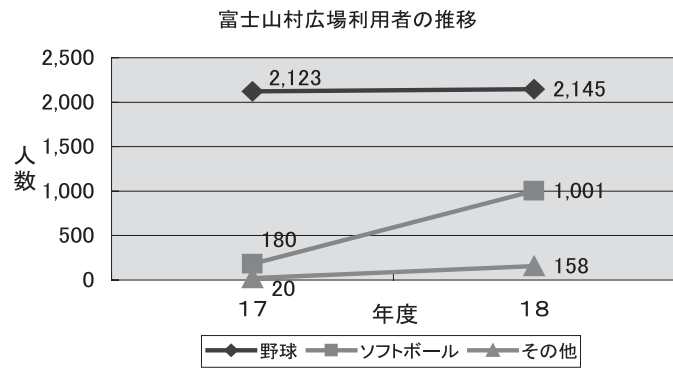
12 佐賀市立富士運動広場

区 分	人 数
野 球	2,186
ソフトボール	310
そ の 他	3,711
合 計	6,207



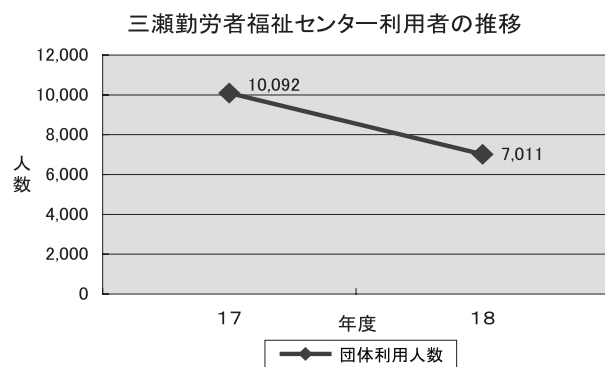
13 佐賀市立富士山村広場

区 分	人 数
野 球	2,145
ソフトボール	1,001
そ の 他	158
合 計	3,304



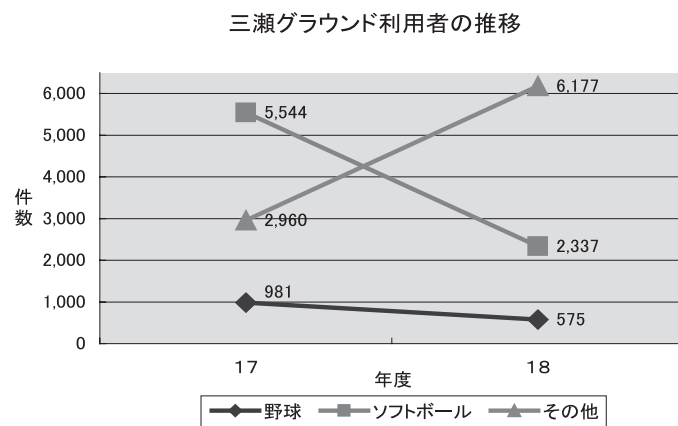
14 佐賀市三瀬勤労者福祉センター

区 分	人 数
個 人	0
団 体	7,011
合 計	7,011



15 佐賀市立三瀬グラウンド

区 分	人 数
野 球	575
ソフトボール	2,337
そ の 他	6,177
合 計	9,089



③ 施設のネットワーク化及び情報提供

余暇時間の増大や健康志向が高まる中、情報処理技術を活用し、市民がインターネットや携帯電話から体育施設の空き状況や利用申込等ができる「スポーツ施設予約システム」を稼動し、身近なスポーツ情報を発信している。

④ 学校体育施設の開放

健康の維持・増進や余暇時間の活用にスポーツをしたい人たちのために、身近な施設として小中学校の体育館、グラウンドを学校教育に支障がない範囲で開放している。10小学校グラウンドには夜間照明を設置し、有効に推進している。

また、「学校体育施設開放運営委員会」を組織し、施設の維持・管理・運営について地元に密着した活動を行っている。

(4) 平成19年度全国高等学校総合体育大会の開催

平成19年度全国高等学校総合体育大会は、高等学校教育の一環として、高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図ることを目的とし、本市開催に当たっては、関係機関・団体や市民の理解と協力を得ながら、高校生はもとより、多くの市民が大会での感動を共有し、思い出に残る大会としたいと考えている。

さらに、この大会を契機として、本市のスポーツの振興・発展を図るとともに全国に向けた情報発信を行う。

<大会概要>

○大会期日

- ・総合開会式 平成19年7月28日（土）佐賀県総合運動場陸上競技場
- ・各競技種目別大会 平成19年7月28日（土）から8月20日（月）まで

○参加者数（予定）

内佐賀市開催競技

- ・選手・監督 約33,000人 約14,000人
- ・競技役員・補助員 約28,000人 約8,600人
- ・総合開会式 約29,000人 約29,000人
- ・応援者延べ 約50万人 約24万人

○開催競技 29競技32種目<うち佐賀市開催分 10競技13種目>

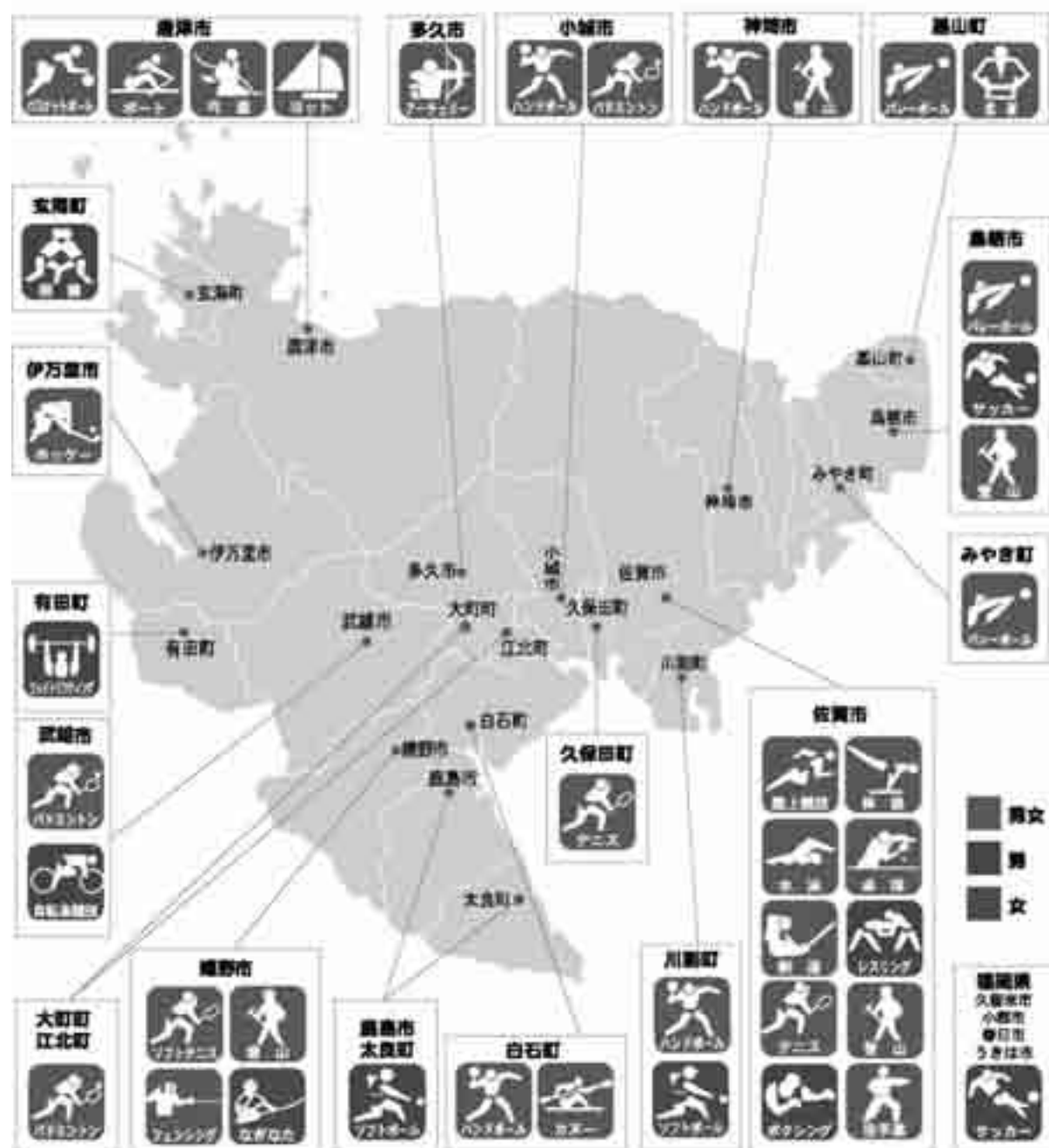
平成19年度全国高等学校総合体育大会「2007青春・佐賀総体」佐賀市開催競技日程表

◎総合開会式 ○種目別開会式 ★種目別開会式後競技 ●競技

競 技		競技会場	7月				8月																							
			28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
総合開会式		佐賀県総合運動場	◎																											
陸上		陸上競技場						★	●	●	●	●																		
テニス		佐賀県総合運動場庭球場		●	●	●	●	●	●	●	●																			
		佐賀県立森林公園テニスコート		●	●		●	●																						
		佐賀市立テニスコート		●																										
水泳	競泳	佐賀県総合運動場																					★	●	●	●				
	飛込	水泳場																					★	●	●	●	●			
	水球	佐賀県立佐賀東高校水球プール																					★	●	●	●	●			
体操	体操	佐賀県総合体育館		★	●	●																								
	新体操							○	●	●																				
剣 道												○	●	●	●															
卓 球															○	●	●	●	●	●										
ボクシング		市村記念体育館	○	●	●	●	●	●	●							○	●	●	●	●	●									
空手道												○	●	●	●															
レスリング		佐賀市立諸富文化体育館						★	●	●	●																			
登 山		県北山少年自然の家(幕営地)																			★	●	●	●	●					

※登山の開・閉会式は嬉野市体育館

競技種目別大会会場地



(承認番号)日本体育協会03-1/2B 029

監査委員

- (1) 委員数 識見委員 1人
議会選出委員 1人

(2) 監査等執行状況（18年度）

① 監査

ア 定期監査

㌞ 財務及び経営管理監査

対 象	期 間	対 象	期 間
企 画 課	平成18年4月 ～ 平成18年6月	議 会 事 務 局	平成18年8月 ～ 平成18年9月
人 事 課	平成18年4月 ～ 平成18年6月	保 護 課	平成18年10月 ～ 平成18年12月
緑 化 推 進 課	平成18年4月 ～ 平成18年6月	学 事 課	平成18年10月 ～ 平成18年12月
河 川 砂 防 課	平成18年4月 ～ 平成18年6月	青 少 年 課	平成18年10月 ～ 平成18年12月
保 険 年 金 課	平成18年4月 ～ 平成18年6月	富 士 支 所 総 務 課	平成18年10月 ～ 平成18年11月
長 寿 ・ 健 康 課	平成18年4月 ～ 平成18年6月	富 士 支 所 建 設 課	平成18年10月 ～ 平成18年11月
街づくり推進課	平成18年8月 ～ 平成18年9月	富 士 支 所 市 民 サービス 課	平成18年10月 ～ 平成18年11月
道 路 課	平成18年8月 ～ 平成18年9月	三 瀬 支 所 総 務 課	平成18年10月 ～ 平成18年11月
環 境 セ ン タ ー	平成18年8月 ～ 平成18年9月	三 瀬 支 所 市 民 サービス 課	平成18年10月 ～ 平成18年11月
市 民 活 動 推 進 課	平成18年8月 ～ 平成18年9月	三 瀬 支 所 保 健 福 祉 課	平成18年10月 ～ 平成18年11月
住 宅 福 祉 課	平成18年8月 ～ 平成18年9月	財 政 課	平成18年12月 ～ 平成19年2月
出 納 室	平成18年8月 ～ 平成18年9月	契 約 検 査 課	平成18年12月 ～ 平成19年2月

監査委員

対 象	期 間	対 象	期 間
商 工 振 興 課	平成18年12月 ～ 平成19年 2 月	諸 富 支 所 建 設 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
下 水 道 企 画 課	平成18年12月 ～ 平成19年 2 月	諸 富 支 所 環 境 下 水 道 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
納 税 課	平成18年12月 ～ 平成19年 2 月	諸 富 支 所 市 民 サービス 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
社 会 福 祉 課	平成18年12月 ～ 平成19年 2 月	諸 富 支 所 保 健 福 祉 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
学 校 教 育 課	平成18年12月 ～ 平成19年 2 月	大 和 支 所 総 務 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
交 通 局 課 総 務 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	大 和 支 所 産 業 振 興 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
水 道 局 課 総 務 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	大 和 支 所 建 設 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
水 道 局 課 経 理 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	大 和 支 所 環 境 下 水 道 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
水 道 局 課 浄 水 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	大 和 支 所 市 民 サービス 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
工 業 用 水 道 事 業	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	大 和 支 所 保 健 福 祉 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月
富士大和温泉病院 診 療 部 門	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	富 士 支 所 産 業 振 興 課	平成19年 2 月 ～ 平成19年 3 月
富士大和温泉病院 診 療 支 援 部 門	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	富 士 支 所 嘉瀬川ダム対策課	平成19年 2 月 ～ 平成19年 3 月
富士大和温泉病院 看 護 部 門	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	富 士 支 所 環 境 下 水 道 課	平成19年 2 月 ～ 平成19年 3 月
富士大和温泉病院 地 域 ケ ア 部 門	平成19年 1 月 ～ 平成19年 2 月	富 士 支 所 保 健 福 祉 課	平成19年 2 月 ～ 平成19年 3 月
諸 富 支 所 総 務 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月	三 瀬 支 所 産 業 建 設 課	平成19年 2 月 ～ 平成19年 3 月
諸 富 支 所 産 業 振 興 課	平成19年 1 月 ～ 平成19年 3 月	三 瀬 支 所 三 瀬 診 療 所	平成19年 2 月 ～ 平成19年 3 月

(イ) 工事監査

○ 監査の方法

財団法人佐賀県土木建築技術協会に業務委託し、同協会から職員の派遣を求め、設計等審査したのち、現地において施工監理に係る書類及び施工状況について検査を行った。

○ 監査の期間

平成18年11月9日～平成18年12月15日

工 種	所 属 名	事 業 名
土 木	富士支所産業振興課	林道大野原線災害復旧工事
土 木	農 村 環 境 課	平尾6号道路函渠布設工事
土 木	道 路 課	市道材木町高木町線側溝布設工事
土 木	河 川 砂 防 課	城東川護岸改修工事
建築・土木	観 光 ・ 文 化 課	佐賀市文化会館改修工事
建 築	教 育 総 務 課	開成小学校北棟オープン教室改修工事

(ウ) 財政援助団体等監査

対 象	期 間	対 象	期 間
緑 化 推 進 課 所 管 美しい緑の郷土づくり県 民運動佐賀市推進協議会	平成18年6月	商 工 振 興 課 所 管 バルーンフェスタ・ サテライト実行委員会	平成18年12月 ～ 平成19年2月
財 政 課 所 管 佐賀市土地開発公社	平成18年6月 ～ 平成18年8月	諸富支所産業振興課所管 夏の夜のメルヘン 実 行 委 員 会	平成19年2月 ～ 平成19年3月
長 寿 ・ 健 康 課 所 管 株式会社健康科学研究所 (公の施設の管理委託)	平成18年6月 ～ 平成18年8月	富士支所産業振興課所管 富 士 町 古 湯 映 画 祭 実 行 委 員 会	平成19年2月 ～ 平成19年3月
環 境 課 所 管 株 式 会 社 佐賀資源化センター	平成18年10月	三瀬支所産業建設課所管 三瀬村田舎と都市の ふれあい祭り実行委員会	平成19年2月 ～ 平成19年3月
商 工 振 興 課 所 管 サガ・ライトファンタジー 実 行 委 員 会	平成18年12月 ～ 平成19年2月		

② 検 査

ア 例月出納検査（収入役所管、交通局、水道局、温泉病院、工業用水）

対 象	期 間	対 象	期 間
平成17年度2月分	平成18年 4月19日～26日	平成18年度8月分	平成18年 10月20日～27日
平成17年度3月分	平成18年 5月15日～22日	平成18年度9月分	平成18年 11月15日～22日
平成18年度4月分	平成18年 6月15日～22日	平成18年度10月分	平成18年 12月15日～22日
平成18年度5月分	平成18年 7月14日～24日	平成18年度11月分	平成19年 1月19日～26日
平成18年度6月分	平成18年 8月15日～22日	平成18年度12月分	平成19年 2月15日～22日
平成18年度7月分	平成18年 9月20日～27日	平成18年度1月分	平成19年 3月20日～27日

③ 審 査

ア 決算審査

対 象	期 間	意見書提出年月日
平成17年度佐賀市自動車運送事業会計	平成18年6月9日 ～ 平成18年8月3日	平成18年8月3日
平成17年度佐賀市水道局事業会計	平成18年6月9日 ～ 平成18年8月3日	平成18年8月3日
平成17年度佐賀市工業用水道事業会計	平成18年6月9日 ～ 平成18年8月3日	平成18年8月3日
平成17年度佐賀市立富士大和温泉病院事業会計	平成18年6月9日 ～ 平成18年8月3日	平成18年8月3日
平成17年度佐賀市一般会計・特別会計	平成18年7月6日 ～ 平成18年9月14日	平成18年9月14日

イ 基金運用状況審査

対 象	期 間	意見書提出年月日
平成17年度運用状況		
土 地 開 発 基 金	平成18年 7 月 6 日	
職 員 厚 生 基 金	～	平成18年 9 月14日
高 額 療 養 費 貸 付 基 金	平成18年 9 月14日	
出 産 費 資 金 貸 付 基 金		

④ 報告の徴取

ア 指定金融機関等に対する検査の報告の徴取

収入役並びに自動車運送事業及び水道事業の管理者から検査結果の報告を受けた。

監査委員

公平委員会

(1) 公平委員会の委員

委員は非常勤であり、議会の同意を得て、長が選任する。

委員数：3人 任期：4年 (地方公務員法第9条の2)

職 名	氏 名	就 任 日	任期満了日
委 員 長	團 野 克 己	H19. 4. 1	H21. 3. 31
委 員	溝 上 雅 章	H19. 4. 1	H23. 3. 31
委 員	大 村 雄 三	H19. 4. 1	H22. 3. 31

(2) 公平委員会の権限

公平委員会は、長から独立した行政機関であり、職員の利益の保護と人事権の公正な行使を保障するため、次の事務を処理する。

- ① 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置要求についての審査、判定及び必要な措置
- ② 職員に対する不利益処分の不服申し立てに対する裁決または決定
- ③ 職員の苦情処理
- ④ その他、法律で定める権限に属する事務（職員団体の登録等）

(3) 公平委員会の設置の経緯

佐賀市においては、地方公務員法第7条第4項の規定により規約を定め、佐賀県人事委員会に公平委員会の事務を委託していた。

しかし、人事委員会または公平委員会を設置していない県庁所在都市は、九州管内では佐賀市のみで、全国でも極めて少ない状況であること、1市3町1村の合併を機に、佐賀市でも公平委員会の設置をするように佐賀県人事委員会から要請がなされていたこと、合併による組織規模の拡大及び職員数の増加、勤務条件が異なる職員が同一市の職員となったことで、公平委員会の役割が重要になってくると考えられること、委員会の機能の一つである職員の苦情処理の窓口は、市にあることが望ましいこと、以上の点を踏まえ、適正な人事行政の実施のために公平委員会を設置することになった。

平成18年12月定例会で公平委員会設置条例が成立し、平成19年4月1日に設置された。

選挙管理委員会

(1) 選挙管理委員

職 名	氏 名	党 派	職 業	就 任 日	任期満了日
委 員 長	前 田 和 馬	無所属	弁護士	H17. 12. 20	H21. 12. 19
委員長職務代理者	久 保 三 朗	無所属	無 職	H17. 12. 20	H21. 12. 19
委 員	中 島 良 弘	無所属	〃	H17. 12. 20	H21. 12. 19
委 員	山 田 明	公明党	〃	H17. 12. 20	H21. 12. 19

(2) 選挙人名簿登録状況

名 簿 名	基準（調製）日	登録者数（人）	備 考
永 久 選 挙 人 名 簿	H19. 6. 1	163,753	年 4 回及び選挙時に登録
有明海区漁業調整委員会 委 員 選 挙 人 名 簿	H18. 9. 1	453	年 1 回登録
農業委員会委員選挙人名簿	H19. 1. 1	15,241	年 1 回登録

(3) 最近における各種選挙の執行状況

選挙名 区 分	市長選挙 (設置選挙)	市議会議員選挙 (設置選挙)	佐賀県知事選挙	佐賀県議会 議員選挙
執行年月日	H17. 10. 23	H17. 10. 23	H19. 4. 8	H19. 4. 8
定数（人）	1	38	1	10
立候補者数（人）	2	52	2	13
当日有権者数（人）	160,266	160,266	158,806	158,806
投票者数（人）	110,512	110,508	99,386	99,347
棄権者数（人）	49,754	49,758	59,420	59,459
投票率（％）	68.96	68.95	62.58	62.56
無効投票数（票）	1,200	2,637	3,509	1,226
最高得票数（票）	56,733.487	3,514	73,104	9,998
最低得票数（票）	52,538.512	552	22,772	4,532
開票時間	21：30～0：35	21：30～6：38	21：00～0：03	21：00～0：25
投票所数	50	50	41	41
ポスター掲示場数	348	348	325	325

(4) 各種選挙の任期満了日程

選挙名	定数	任期満了日	備考
佐賀市議会議員選挙 (増員選挙)	6	合併日 H19. 10. 1	合併による増員選挙（編入町のみ の選挙）川副町 3 人、東与賀町 1 人、久保田町 2 人
有明海区漁業調整委員会委員 選挙	6	H20. 8. 14	1 選挙区（5 市 6 町）6 人
佐賀市農業委員会委員選挙	30	H21. 3. 31	7 選挙区 30 人
衆議院議員選挙	小選挙区300 比例代表180	H21. 9. 10	小選挙区 佐賀県第 1 区 1 人（別記 1） 佐賀県第 2 区 1 人（別記 2） 比例代表 九州選挙区 21 人
佐賀市長選挙	1	H21. 10. 22	
佐賀市議会議員選挙	38	H21. 10. 22	
参議院議員選挙	選挙区73 比例代表48	H22. 7. 25	選挙区 佐賀県選挙区 1 人 比例代表 全国区 48 人
佐賀県知事選挙	1	H23. 4. 22	
佐賀県議会議員選挙	41	H23. 4. 29	14 選挙区 41 人（佐賀市選挙区 10 人）
参議院議員選挙	選挙区73 比例代表48	H25. 7. 28	選挙区 佐賀県選挙区 1 人 比例代表 全国区 48 人

別記 1 旧佐賀市、鳥栖市、旧千代田町、三養基郡

別記 2 旧諸富町、旧大和町、旧富士町、旧三瀬村、旧北方町、鹿島市、太良町、小城市、嬉野市、旧神埼町、旧脊振村、佐賀郡、吉野ヶ里町、杵島郡

(5) 選挙公営

公職選挙法第141条第 8 項及び第143条第15項の規定による条例の定めるところにより、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成に要する費用を公費で負担する。

(6) 常時啓発

明るい選挙啓発ポスター募集事業及び学校選挙支援事業など常時啓発に積極的に取り組み、選挙意識の高揚を図るとともに公職選挙法の基本理念である明るい選挙の推進に努める。